

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 43 号
R7. 11. 7
公益社団法人自衛隊家族会
事務局 長 阿部 知己

令和 7年11月「月 報」

1 はじめに

高市内閣総理大臣は 10 月 24 日の所信表明演説で外交安全保障について「我々が慣れ親しんだ自由で開かれた安定的な国際秩序は、パワーバランスの歴史的変化と地政学的競争の激化に伴い、大きく揺らいでいます。同時に、我が国周辺では、いずれも隣国である、中国、北朝鮮、ロシアの軍事的動向等が深刻な懸念となっています。こうした国際情勢の下、世界の真ん中で咲き誇る日本外交を取り戻します。」と述べ、「2022 年 12 月の国家安全保障戦略を始めとする「三文書」の策定以降、新しい戦い方の顕在化など、様々な安全保障環境の変化も見られます。我が国として主体的に**防衛力の抜本的強化を進める**ことが必要です。このため、国家安全保障戦略に定める「対 GDP 比 2 %水準」について、補正予算と合わせて、今年度中に前倒して措置を講じます。また、来年中に「三文書」を改定することを目指し、検討を開始します。防衛力そのものである防衛生産基盤・技術基盤の強化、防衛力の中核である**自衛官の処遇改善**にも努めます。」と述べました。

同日、小泉防衛大臣を本部長とする「防衛力変革推進本部」の第 1 回会議（議題：戦略三文書の改定に向けた今後の検討の進め方について）が開催されました。

ほぼ 1 年前、「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議（第 1 回）」が開かれ、「任務や勤務環境の特殊性を踏まえた給与面の処遇の在り方」「自衛隊員として長年にわたり任務に精励した功績に相応しい叙勲等の在り方」「若い世代のライフスタイルに見合った生活勤務環境の構築」「若年定年制における将来不安の払拭の観点から、自衛官としての知識・技能・経験を活かした再就職先の拡充」等が検討され、12 月に取りまとめられた「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針」には多くの具体策が掲げられています。

防衛省自衛隊を取り巻く環境も隊員を取り巻く環境も変化していますし、変化を続けます。前掲「防衛力変革推進本部」の「変革」は「更に強くなるには自分達が変わらねば」の意図である由。皆で頑張りましょう！

「Defense World 26」では、多くの改善された（されつつある）処遇面を紹介するべく編集集中です。

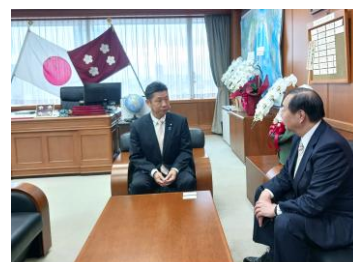
増田会長は 10 月 29 日に吉田真次（しんじ）防衛大臣政務官を、31 日に宮崎政久（まさひさ）防衛副大臣、若林洋平防衛大臣政務官を訪ね、家族会の現状と防衛意識の普及高揚、自衛隊に対する協力（特に募集協力、家族支援協力に係る防衛省との協定）等の活動について申し上げました。



宮崎副大臣



吉田大臣政務官



若林大臣政務官

2 防衛省・自衛隊の活動（写真：官邸 HP, 防衛省 HP 等）

- (1) 10月11日、石破内閣総理大臣（当時）参列の下、防衛省慰霊碑地区（市ヶ谷）で「令和7年度自衛隊殉職隊員追悼式」が挙行政され、増田会長が列席し、



任務遂行中に不幸にして職に殉じた隊員を追悼しました。

今年度新たに30柱（陸13柱、海10柱、空6柱、機関1柱）が顕彰され、警察予備隊以降の累計は2,142柱となります。

（陸 1,151 柱、海 513 柱、空 445 柱、機関 33 柱）防衛省 HP

- (2) ソマリア・アデン湾における日本関係船舶を海賊行為から防護する取り組み及び中東地域における日本関係船舶の安全確保のための自衛隊による情報収集活動を行っている海賊対処行動の部隊は、次の通り任務を遂行中です。

【海賊対処】水上部隊：直接護衛：護衛回数0。護衛隻数 0

ゾーンディフェンス：21日実施、商船82隻を確認

航空隊：飛行回数7回、飛行時間約40時間、商船202隻を確認
護衛艦、諸外国の艦艇等及び民間商戦への情報提供 5回

【情報収集】水上部隊は、オマーン湾の公海、アラビア海北部の公海で活動し、280隻の船舶を確認

航空隊は、オマーン湾の公海、アラビア海北部の西側の公海で活動し、231隻の船舶を確認



3 家族会の活動

(1) 防衛講演会を開催

10月25日、広島市の広島市文化交流会館で、広島県自衛隊



吉田
広島県会長

家族会担当の令和7年度第1回防衛講演会を開催しました。国会議員代理、県議会議員をはじめ多くの聴衆を前に、講師の高田克樹理事（元陸上総隊司令官）が、「激動する国際情勢と我が国の



高田講師

安全保障」と題し、戦後最も厳しく複雑と言われ

る安全保障環境、とりわけ、わが国周辺の中、露、北朝鮮及びイランの関係、ウクライナ問題等のトピックを解説するとともに、人材確保や自衛隊退職後を含めた人材の有効活用に言及しました。細部は11月の防衛講演会（岐阜）のネタバレ（？）になるかもしれませんが、今回から防衛省内部部局の依頼により実施している防衛講演会に関するアンケートには「勉強になった」「このような講演会をもっと実施して欲しい」等の回答が見られ、防衛意識の普及高揚に役立っていると感じています。



増田会長 冒頭挨拶

(2) 神奈川県で防衛講話

9月27日、神奈川県自衛隊家族会は、横浜の崎陽軒本店で第34代陸上幕僚長の岩田清文氏を講師に迎え、防衛講話を開催しました。「国際情勢の激変と我が国の防衛—台湾・日本有事を抑止する」と題した講演には、神奈川県自衛隊家族会の他、隊友会会員を含め約90人が参加・聴講しました。



岩田講師



お話は、我が国を取り巻く安全保障環境の急激な悪化から、今や日本も自国の安全は自らが本気で確保していかなければならない状況が、正に迫っており、今後、日本の備えるべき抑止力の強化はどのように図っていかなければならないか。という内容で進められました。

陸上自衛隊での豊富な実務経験と我が国の安全保障にかかわる研究結果等に基づく具体的に大変迫力のあるお話しであり、予定の時間は瞬く間に過ぎました。

(3) 令和7年度 新任会長・事務局長等研修会を開催

10月7日、市ヶ谷の防衛大学校同窓会会議室で、令和7年度に新任となった会長・事務局長計10名が参加して研修会を実施しました。

新任会長

新任事務局長



会場の都合で窮屈な思いに耐えていただきましたが、参加した会長・事務局長は意欲と熱気にあふれ、活発な質疑により疑問の解消や、他県の活動例からのヒントを得て帰られました。今後ともよろしくお願いいたします。

(4) 各地で地域協議会を開催

ア 東海・北陸地域協議会：10月15・16日、福井県鯖江市で東海・北陸地域協議会を開催しました。各県会長等の他、本部からは荒木東海・北陸地域担当委員が参加しました。

会勢拡大等について各県が発表し意見を交換する中、入隊入校者激励会の要領を式典形式からランチ形式に変え、テーブル配置を陸海空、任用区分、出身市町村別にグループ分け、家族会女性会員の同席を調整するとの工夫で入会率を向上（40%（R05）→53%（R06））させた例が紹介され、また、家族会の活動を知らせる努力が不可欠として、ビブスの着用やSNSの活用等の意見が交わされました。その後、第14普通科連隊長兼ねて金沢駐屯地司令 澤田1陸佐の「最近の国際軍事情勢と防衛省・自衛隊の取り組み」と題する



講話を拝聴して見識を深めました。その中で講師は家族会に対する期待として、処遇改善のPRを通じた募集等に対する更なる支援・協力を挙げられました。

2日目には鯖江の特産である「めがねミュージアム」の研修、陸自鯖江駐屯地で駐屯地体育館、営内居室の見学、体験喫食で日程を終了しました。

ご支援いただいた福井地方協力本部、ご参加いただいた鯖江市長、第10師団長、中部方面総監幕僚副長、舞鶴地方総監代理管理部長、金沢駐屯地司令、小松基地（6空団）監理部長、石川、富山、福井、岐阜、三重各地方協力本部長他の皆様、有難うございました。

イ 東北地域協議会：10月21日、山形県村上市で東北地域協議会を開催しました。

各県会長等の他、本部からは乾東北地域担当委員が出席しました。

ウ 北関東地域協議会：10月26・27日、新潟県長岡市で北関東地域協議会を開催しました。各県会長等の他、本部からは手塚北関東地域担当委員が出席しました。

（5）隊員の激励

ア 入隊式

10月3日、神奈川県自衛隊家族会中條会長、西村三浦半島地区会長、吉田横浜中央地区会理事が第1混成団第117教育大隊で行われた第2期技術陸曹課程、第25期一般陸曹候補生課程、第28期自衛官候補生課程の計117名の入隊式に参加しました。入校式は東部方面混成団長である高野1陸佐を立会官に、多くの来賓が見守る中、国歌斉唱に続き、課程ごとに任命、申告、宣誓が行われ、執行者である簗戸大隊長は式辞で「同期と切磋琢磨せよ」と要望しました。来賓の三浦のぶひろ参議院議員は



祝辞の中で「ご家庭の理解が国防の基盤」と述べ、高野団長の「全力で取り組み、全員で修業せよ」との言葉で閉式となりました。

入隊式終了後、第117教育大隊のご配慮により自衛隊家族会の紹介時間をいただき、ほとんどのご家族に家族会パンフレットを受け取っていただきました。

イ 自衛隊体育学校

10月11日、体育学校で行われた記念行事に田浦理事が出席しました。



江頭学校長挨拶

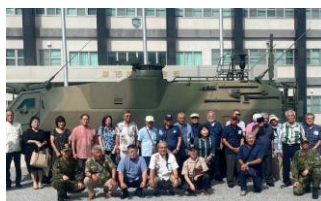


強化選手紹介

来年開催される冬季オリンピック強化選手の紹介等が行われ、出席者の大きな拍手と激励を受けました。

(6) 部隊研修

9月26日、沖縄県家族会は那覇駐屯地で第15特殊武器防護隊の研修及び講話を実施しました。参加者は家族会会員と隊友会会員合わせて約30名で、講座約1時間、機材展示デモンストレーション40分間。炎天下で実施する隊員と見学する会員の皆さんは暑さにも負けず真剣に見て聴き入っていました。



(7) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果（月間報告）

10月の「問い合わせ」件数は6件で、各自衛隊担当者が直接対応したものはなく、全て事務局で対応を終了しました。そのうち、5件が家族会会員からであり、残り1件が家族会会員以外の方からでした。

分類別では、“家族会に関する問い合わせ”のⅡ分類の2件が家族会会員からの相談であり、他の4件の相談が“相談者や隊員に関する相談”のⅠ分類でした。

Ⅰ分類の相談中の1件は、入隊直後の子息への職場でのイジメに対する相談でした。親御さんからお聞きしたイジメの内容はそれが事実とすれば陰湿ですが、部隊としては対応している様です。一方、更に上の幹部とも相談したいという相談先を尋ねる内容であり、当窓口としては、状況を確認して連絡先をお教えして対応を終了しました。

未だ若年の子息を自衛隊に預け、その勤務先でイジメが有ったとすれば、親御さんとして心配し、様々なレベルに確認したいという親心は当然であると思います。また、「自衛隊という仕事場に預けた以上、親であっても口出しは不要」という様な対応は現在では通用せず、隊員確保が大変な時に貴重な隊員を組織に維持する為の現役の皆さんのご苦勞が察せられる内容でした。

その他では、隊員であるご主人と離婚調停中の非会員である奥様から、御主人の退職金、年金等の質問がありました。離婚に伴う財産分与等に関連しているものと拝察しますが、離婚の一方の当事者である奥様に情報提供することは、離婚事由も不明である中で自衛隊員とその家族を支援する家族会としては微妙な立場であり、一般的な内容以外は当然のこととして回答できず、部隊の然るべき窓口を紹介したに留まりました。

なお、今回も憂さ晴らしの話し相手として当窓口連絡してきた相談も1件有り、丁寧には対応しましたが、弁護士への対応を勧めたところ一方的に電話を切られるという失礼な相談者でした。この様な方には、カスタマーハラスメント対応も考慮して応じていきます。

家族会会員から頂いたⅡ分類2件は、「おやばと」の購読をメール配信に代替え可能かという質問であり、「おやばと」購読の家族会における意義を説明しご理解を頂きましたが、まさしく現代の紙媒体のマスコミが抱えている悩みと同根の問い合わせであると再認識させられました。

また、他のⅡ分類の1件は、各地区の家族会活動における経費の取り扱いについてでした。活動経費については、本部には本部の、各県には各県の規則があり、統一的に本部から指示できる内容ではなく、本部からの回答が難しいことにご理解頂きました。

相談者は、真摯な活動の中で確認の為に質問されたものと考えますが、不明点の解消によってわだかまりなく爽やかに家族会の活動を実施して頂く為にこの窓口がお役に立てればと思います。

PS；事務局の対応も大変ですので、お手柔らかにお願いします。

4 事務局からの連絡

(1) ボランティア保険料の支払いについて

ボランティア保険（令和5年10月～令和6年9月末）の「保険料請求のご案内」はお手元に届きましたでしょうか？ 内容を確認の後、12月末までにお支払いをお願いします。

(2) 各種希望数の確認について

下記について要望数をそれぞれの時期までに事務局業務担当の梁池へご連絡下さい。

ア 入校・入隊者激励会用「おやばと」（無償配布）

入校・入隊者激励会用「おやばと2月号」希望数を11月27日(木)まで

イ 北方領土返還要求署名用紙

令和7年度希望数 を 11月27日(木) まで

(3) オリンピック冬季大会（ミラノ・コルティナダンペッツォ 2026. 令和8年2月6日～2月22日）出場隊員等支援募金のお願い。

令和7年度自衛隊家族会事業計画「(公2) 隊員等に対する慰問・激励」に基づき、来年開催のオリンピック冬季大会に出場する隊員等を支援・激励いたします。

出場選手が発表されるのは年明けになるようですが、自衛隊体育学校からは、クロスカントリーやバイアスロンでの活躍が期待されます。

つきましては、次の要領で募金をよろしくをお願いします。

① 募金額の基準：5千円／県家族会

② 募金期間：令和7年12月25日

③ 振込要領：口座名：公益社団法人 自衛隊家族会

口座記号番号：00140-9-6014

※ 通信欄に「オリンピック募金」と記載願います。

以上

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長、

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、
募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長